



新年のごあいさつ

オール栃木でまちづくり推進

栃木市長 鈴木俊美

市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭のごあいさつにあたり、まずは昨年の東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災されました地域の方々に対し、一刻も早い復旧・復興と生活の安定が図られますことをお祈り申し上げます。

さて、本市は、去る10月1日に西方町と合併し、新生「栃木市」としてスタートいたしました。本市では地域自治区制度を活用したまちづくりを進めており、今後は西方地域の皆様とも手を取り合って地域の特色を生かしたまちづくりを推進してまいります。

この合併により市域はさらに大きくなりましたが、市民サービスは各地域の隅々までより一層きめ細やかに推進していく必要がありますので、現在策定中の「栃木市総合計画」の

中に「地域のすがた(地域別構想)」を盛り込むこととしました。この地域のすがたは、地域の特性を尊重しながらも、新市全体の中で地域の役割や特色を示すものとし、作成にあたっては「地域協議会」「まちづくり協議会」が主体となって取り組んでまいります。

また、市民によるまちづくりを推進し、市民自治の実現を図ることを目的に自治基本条例市民会議から「栃木市自治基本条例」の素案が提出されたことから、今後、パブリックコメント(意見募集)等を経て、本市のまちづくりや市政運営の基本理念・基本原則等を定める条例として平成24年度中の策定を目指してまいります。

一方、懸案事項としては昨年2月に閉店となった福田屋百貨店栃木店の跡地問題があります。この問題については「福田屋百貨店栃木店閉店対策検討委員会」を設置し、市庁舎

としての利用をはじめとする複合機能を持つ施設としての可能性も含めて、中心市街地の活性化に向けて最良の利活用方法を検討しています。

もうひとつの懸案として地域医療の再生問題があります。下都賀総合病院の移転を含むこの問題については「栃木地区病院統合再編協議会」を発足し、3病院の統合による地域医療の再構築を図ることで検討を進めています。今後は同病院の運営を担う新法人設立の準備や具体的な事業の着手に向けて作業を進めてまいります。

いずれにいたしましても、大きな災害を体験し、自分達の住む地域力がいかに大切かを感じ知らされた今、本市は「オール栃木」でまちづくりを進めていきたいと考えていますので、今後とも市民の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。